

Adobe Dreamweaver CC 2017 (Beta 2)

法律上の注意

法律上の注意については、http://help.adobe.com/ja_JP/legalnotices/index.html を参

照してください。

目次

ありがとうございます	4
Dreamweaver Beta 2 の新機能	5
検索と置換	5
コードヒント	7
ブラウザのライブプレビュー	7
プロパティインスペクター	8
Dreamweaver Beta 1 の新機能	9
新しくなったユーザーインターフェイス	9
コードビューの機能強化	10
CSS プリプロセッサ	18
ファイルパネルの変更点	26
スニペットパネルの変更点	28
クラッシュ後のファイルの自動復元	31
マルチカーソルのサポート	32
コードヒントとクイック編集を使用したカラーピッカーへのアクセス	33
ワークスペースの変更点	34
Dreamweaver の環境設定の強化	35
ツールバーの変更点	36
コンテキストメニューの変更点	41
キーボードショートカットの変更点	43
編集不可の内容	44
アプリケーションメニューの再構成	44
フィードバックの提供	44
必要システム構成	46
機能リクエスト、フィードバック、バグレポート	47
既知の問題	49
Dreamweaver ベータ版ビルドのインストール	49

ありがとうございます

過去数ヶ月間に、Dreamweaver ベータ版は 6,000 回以上ダウンロードされ、的確で非常に役立つフィードバックが寄せられています。ユーザーコミュニティの皆様には、この Dreamweaver リリースの改善に協力を惜しまず真剣に取り組んでいただき、深く感謝いたします。

まず、感謝の気持ちをお伝えさせていただきます。ありがとうございます。皆様からのフィードバック（150 以上のバグの報告）を受けて、そのうちの 50 件以上を修正して、このベータ版リリースに反映しています。皆様からのフィードバックのすべてに対応することは一度にできるのではなく、万全の態勢で次期リリースに臨むまでにはまだ少し時間がかかりそうです。皆様には今後ともフィードバック、コメント、質問、説明をお寄せいただくようお願いいたします。

前回同様、Beta 2 についても [ご意見やご感想をお聞かせください](#)。ご協力に前もって感謝いたします。

よろしくお願いいたします。

Dreamweaver 製品チーム

Dreamweaver Beta 2 の新機能

この Dreamweaver Beta のアップデート版には、皆様からお寄せいただいたすべての役立つフィードバックに基づき、Beta 1 からの新機能、機能強化、改訂が盛り込まれています。

これらの新機能と機能強化について以下に簡単に説明します。

検索と置換

検索／置換（Ctrl／Cmd+F）機能は、Dreamweaver でよく使用されます。ただし、フローティングダイアログは便利ではなく、特に大きなドキュメントで作業中は使いづらいとのご意見がありました。新しい検索および置換機能は、操作性が刷新され、他の干渉を受けずにすばやく検索できるようになりました。

また、パフォーマンスの向上と機能強化に向けて設計し直されています。

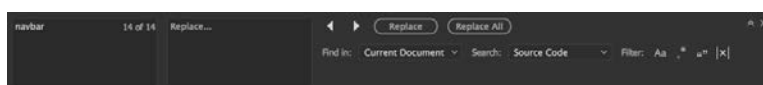
検索および置換のドッキングバー

検索／置換機能は、ドキュメントウィンドウの上部でドッキングバーとして利用できるようになりました。使用中の画面またはユーザーが選択したビューの利用可能なスペースに応じて、検索および置換のドッキングバーは3つの方法で表示できます。

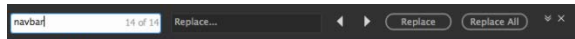
- デフォルト表示。検索および置換バーを通常のウィンドウで開いたときに表示されます。
- 拡張表示。二重山カッコのアイコンをクリックしたときに表示されます。
- コンパクト表示。ドキュメントウィンドウを初期設定サイズより小さいサイズに変更したときに表示されます。



デフォルト表示



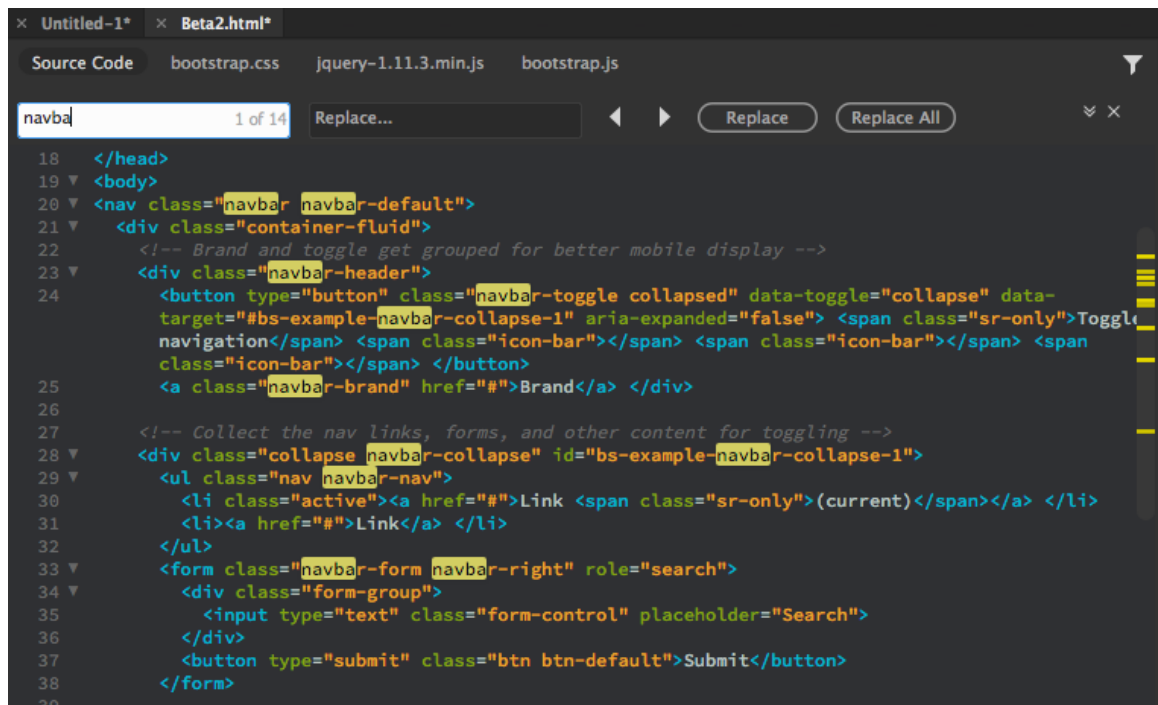
拡張表示



コンパクト表示

検索結果のライブハイライト

検索および置換バーで、現在のドキュメントを検索するために検索ボックスに入力を開始すると、検索された文字がハイライト表示されます。現在のドキュメントを検索する際に、検索文字列を入力してから「次を検索」ボタンまたは「すべて検索」ボタンをクリックする必要がなくなりました。また、ドキュメントの検索中に、検索結果の位置を示すマーカーがスクロールバーに表示されるようになりました。



検索ボックスに入力すると同時に文字列が検索されてハイライト表示される

検索位置と検索結果の総数

検索ボックスに入力すると同時に文字列が検索されてハイライト表示されるだけでなく、現在の検索位置と検索結果の総数也表示されます。数値は検索ボックス内に表示されます。



検索位置と検索結果の総数

検索および置換機能の既知の問題

- 現在のドキュメントを除くすべての場所で置換を行う際に、「すべて置換」をクリックすると、ドキュメントウィンドウの下部の検索パネルに結果が表示されます。ただし、まだ置換は完了していません。置換するには、検索パネルで「置換」をクリックしてください。

コードヒント

新しいコードヒントには、プロパティに複数のサブプロパティが含まれている可能性がある場合に、追加情報が表示されるようになりました。例えば、要素の `margin` プロパティには、値として `top`、`right`、`bottom`、`left` の各マージンが含まれている場合があります。

`margin` プロパティの最初の値（`margin-top`）を入力すると、コードヒントが表示され、残りのプロパティに想定される値が示されます。入力続けると、新しく入力した内容を反映してコードヒントの値が更新されます。



CSS プロパティのコードヒント

ブラウザーのライブプレビュー

これまでのバージョンの Dreamweaver では、作業中のページをプレビューすることを選択して、ページの状態を確認できました。ただし、ページを更新するたびに、Dreamweaver でページを保存してからページをブラウザーでリロードして、変更内容を確認する必要がありました。今度のベータ版の Dreamweaver リリースでは、Dreamweaver で実施している変更を、ブラウザーでプレビューしているページでリアルタイムに確認できるようになりました。

ブラウザーのライブプレビューを使用する方法は次のとおりです。

1. ツールボックスで、デバイスプレビュー／ブラウザーでプレビューをクリックします。

ブラウザのタブまたはウィンドウに Web ページが表示されます。



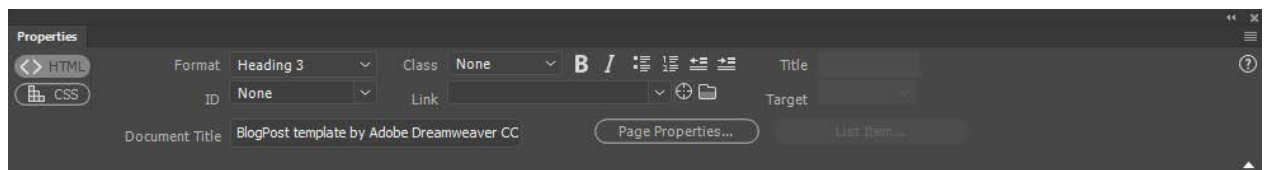
「ブラウザでプレビュー」のオプションでブラウザを選択します。

2. Dreamweaver で Web ページを編集します。変更が即座にブラウザに反映されることがわかります。

注意：ブラウザのライブプレビューを表示するタブまたはウィンドウには、そのタブまたはウィンドウが開いている限り、引き続き Web ページへの変更が反映されます。タブは「ブラウザでプレビュー」のリストに追加されます。

プロパティインスペクター

ユーザーインターフェイスの刷新に伴って、プロパティインスペクターパネルの表示が Dreamweaver のその他の部分と同期されるようになりました。Dreamweaver インターフェイスに適用されたすべてのテーマがプロパティインスペクターパネルにも適用されます。



プロパティインスペクターパネル

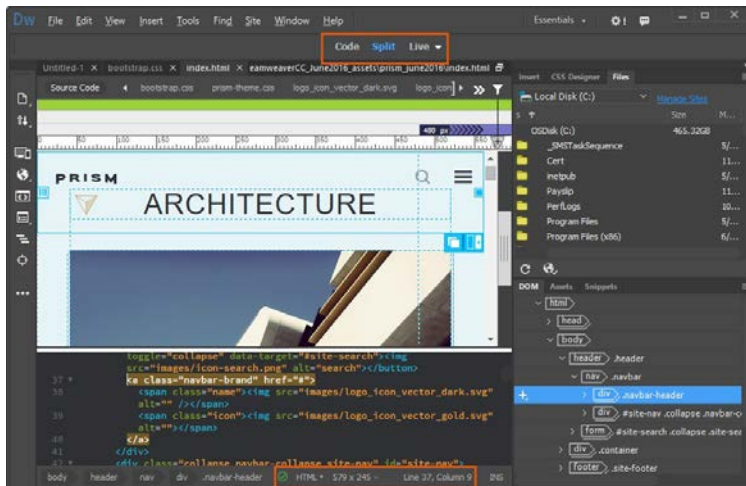
Dreamweaver Beta 1 の新機能

この Dreamweaver CC (2017 ベータ版) のリリースでは、進化した直観的なユーザーインターフェイスにより、選択可能なダークテーマ、一新したコードエディター、CSS プリプロセッサのサポートを含むいくつかの機能強化を利用できるようになりました。

これらの新機能と既存の機能の強化についての簡単な説明を以下に記載します。

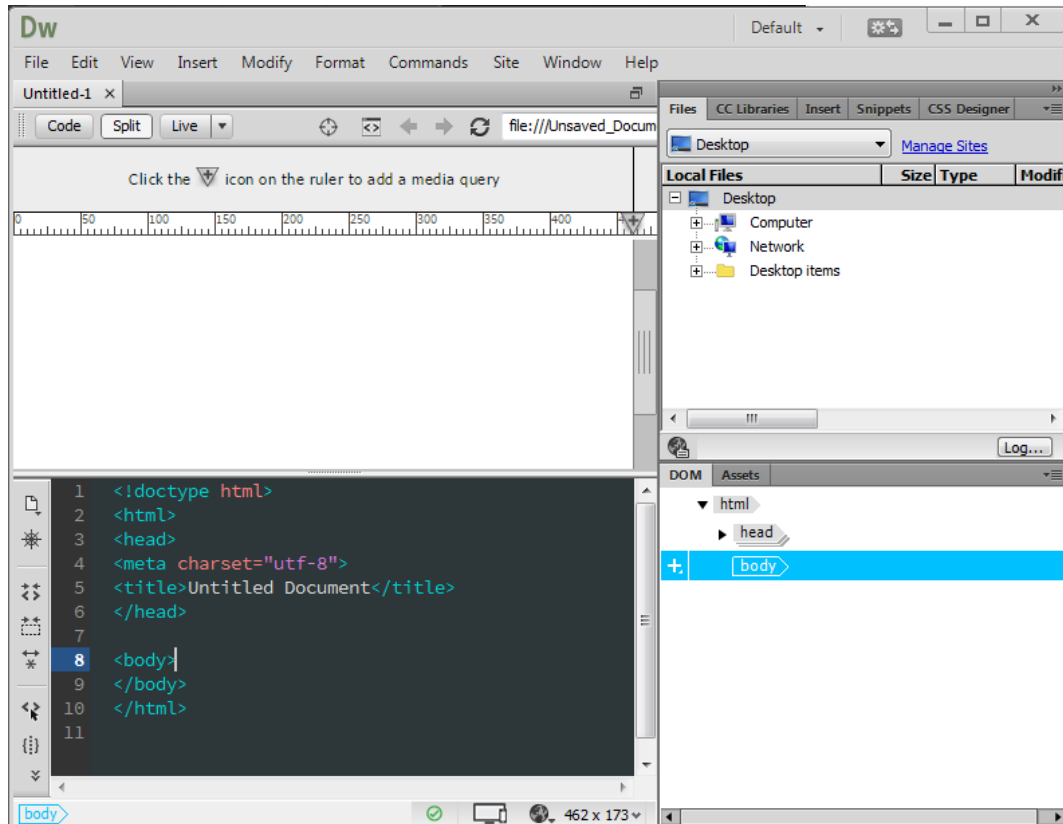
新しくなったユーザーインターフェイス

Mac と Windows の両方のオペレーティングシステムで、最新のユーザーインターフェイスを利用



きます。作業はまだ進行中ですが、こちらは一新された Dreamweaver のスナップショットです。

新しいユーザーインターフェイス - Dreamweaver (2017 年ベータ版) リリース



ユーザーインターフェイス - 2015 年リリースの Dreamweaver

コードビューの機能強化

Dreamweaver のコードビュー全体のデザインが一新され、以下の機能が強化されました。

- ・ [クイック編集](#)
- ・ [クイックドキュメント](#)
- ・ [コードヒント](#)
- ・ [コードのコメント化](#)
- ・ [コードの色付け](#)
- ・ [コードのフォーマット](#)
- ・ [コードビューのフォントサイズの変更](#)
- ・ [新しくなったステータスバー](#)
- ・ [選択内容に基づいたコードの折りたたみ](#)

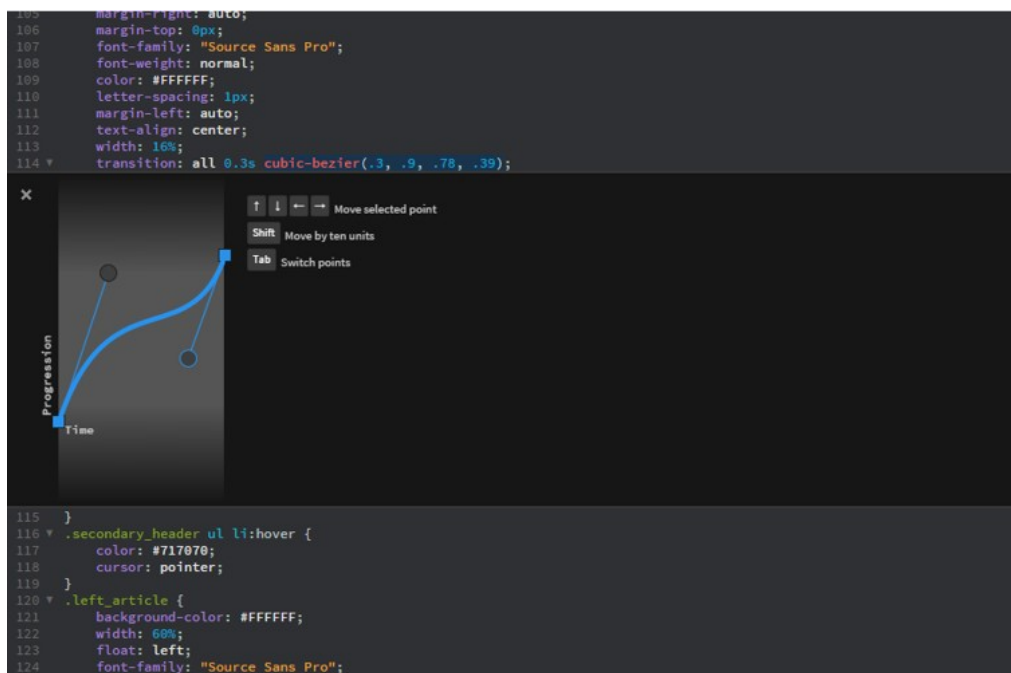
- ・ 構文チェックコード

クイック編集

コードビューのクイック編集では、コンテキスト固有のコードやツールがインラインに配置されるので、ファイルタブを切り替えることなく、現在のファイル内で関連するコードを編集できます。

クイック編集を開くには、特定のコードスニペット上にカーソルを置き、Ctrl キーまたは Command キーを押しながら E キーを押します。次に例を示します。

- ・ HTML ファイルでカーソルをクラス内または ID 属性（名前や値）内に置くか、タグ名の上に置いた場合— クイック編集により、関連するファイル内のすべての一致する.cssールが表示されます。この場合、HTML ファイルのコンテキストを離れることなく、これらのルールを直接インラインで編集できます。
- ・ 複数のルールと一致した場合は、右側のリストを使用して（またはAlt キーを押しながら上向き矢印／下向き矢印キーを押して）ルール間を移動します。インラインエディターから直接新しい .css ルールを作成するには、「新規ルール」ボタンをクリックします。
- ・ 16 進カラーまたは RGB/RGBA/HSL/HSLA カラーを含むファイルの場合、クイック編集はカラーピッカーを開いてカラーのプレビューと調整ができるようにします。
- ・ JavaScript ファイルで関数名の上にカーソルを置いた場合、クイック編集は関数の本体（それが require() 文によって参照されている他のファイルにある場合でも）を表示します。
- ・ .css/LESS/SCSS ファイルでカーソルを cubic-bezier() または steps() トランジションタイミング関数に置いた場合、クイック編集はグラフィカルトランジションカーブエディターを表示します。定義済みタイミング関数のイーズ、イーズイン、イーズアウト、イーズインアウト、ステップ開始、ステップ終了も有効な開始点になります。



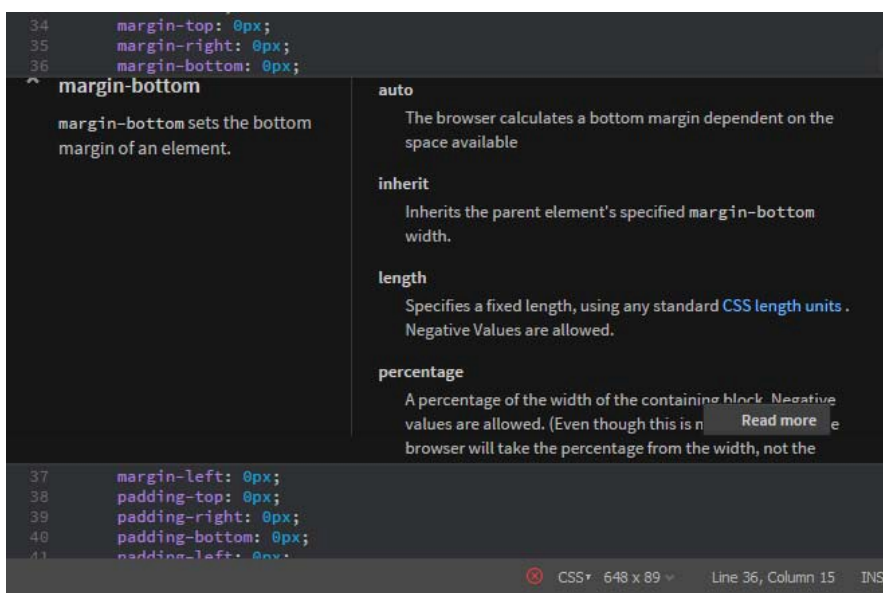
クイック編集

CSS ファイルのクイックドキュメント

クイックドキュメントでは、関連するドキュメントがインラインで表示されます。クイックドキュメントを開くには、Ctrl キーまたは Command キーを押しながら K キーを押します。

CSS/LESS/SCSS ファイルで、カーソルを CSS プロパティ/値の上に置くと、クイックドキュメントは Web Platform Docs プロジェクトからドキュメントを開きます。

同時に複数のインラインエディターとドキュメントビューアを開くことができます。1つのインラインエディターまたはドキュメントビューアを閉じるには、左上の「X」をクリックするか、それにフォーカスがあるときに Escape キーを押します。すべてのインラインエディターおよびドキュメントを閉じるには、カーソルをメインの外側のコードエディター内に移動し、Escape キーを押します。



クイックドキュメント

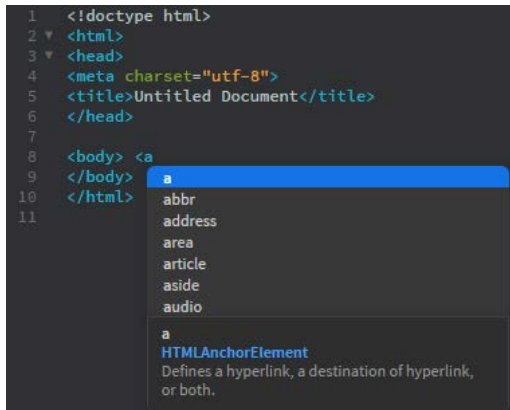
コードヒント

このリリースでは、コードヒントに、選択した JavaScript、HTML、CSS または PHP コードに関する役立つ情報が表示されるようになりました。これらのヒントはコードによって異なりますが、通常下記の情報を示します。

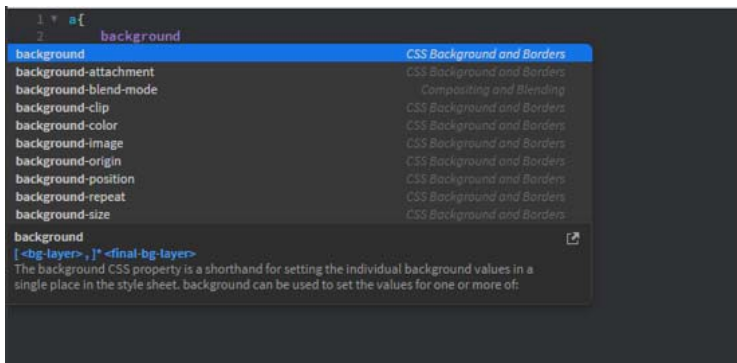
- ・ 選択したコードの説明
- ・ 関数シグネチャ
- ・ 外部ドキュメントへのリンク

例えば、JavaScript のユーザー定義関数の場合、関数定義の前のコメントが説明として関数シグネチャとともに表示されます。

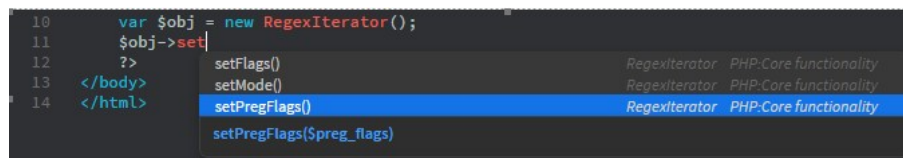
PHP 関数のヒントの場合、関数シグネチャが情報セクションに表示されます。例をいくつか示します。



HTML のコードヒント



CSS のコードヒント



PHP のコードヒント

コードヒントは、デフォルトでは、以下のインスタンスで表示されます。

- ・ CSS、LESS、SCSS — すべてのプロパティ名、および列挙型プロパティ値（値は個別のキーワードリスト）。CSS ヒントには Dreamweaver CC 2015 に欠落していたすべての新しいヒントが含まれるようになりました。また、color や background-color などのプロパティに対してヒントからカラー名を選択することもできるようになりました。
- ・ JS — 変数と関数、Tern コードインテリジェンスエンジンを使用。
- ・ Tern では、コードの分析に基づいて、特定のオブジェクトにどのようなプロパティやメソッドが含まれているかについて、インテリジェントな推測を行います。現在のファイル

に加え、Dreamweaver ベータ版では、require() 文で参照されている他のファイルも確認します。

- ・ Dreamweaver ベータ版は、利用可能なヒントを判断できない場合、ヒューリスティックな推測のリストを参照します。これらの推測は斜体で表示されます。
- ・ JS コードヒントはスマートマッチングに対応 — キャメルケースの頭字語や省略形を入力してヒントリストをよりすばやく絞り込みます（例：getScrollPos の代わりに「gsp」と入力します）。
- ・ 引数のヒントも利用可能 — 関数の引数を入力しているときに、予期される引数の種類がカーソルの上のインジケーターに表示されます。
- ・
- ・ 以下のコードヒントは Dreamweaver CC 2015 から変更なしで継承されています。言語コンストラクトとサイト固有（PHP）のヒントについては、引き続き静的ヒントと動的ヒントが提供されます。
 - ・ HTML — タグ名、属性名、属性値およびエンティティ
 - ・ XML — XML ノードおよび属性
 - ・ PHP — PHP のヒントはサイト固有
- ・ 選択した CC ライブラリアセットのコードヒントも利用できます。

コードのコメント化

Ctrl + /（スラッシュ）（Windows）または Command + /（スラッシュ）（Mac）を使用して選択範囲または単一の行に対するコメントを切り替えられるようになりました。Dreamweaver は、自動的にコンテンツの種類を検出し、適切なコメントを挿入します。

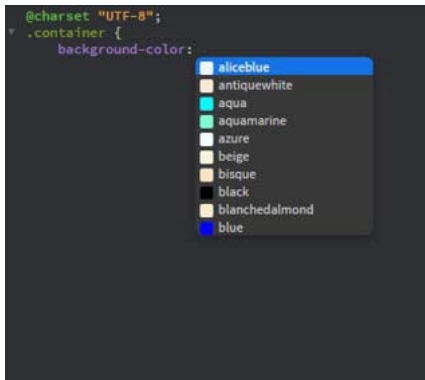
引き続きツールバーからコメントを挿入することもできます。

コードの色付け

Dreamweaver では以下に対するコードの色分けをサポートするようになりました：HTML、JS、CSS、PHP、XML、LESS、Sass、SCSS、SVG、Bash、C、C#、C++、clojure、CoffeeScript、

Dart、Diff、EJS、Embedded Ruby、Groovy、Handlebars、Haskell、Haxe、Java、JSON、Lua、Markdown、Markdown (GitHub)、Perl、Properties、Python、RDF Turtle、Ruby、Scala、SQL、Stylus、Text、VB、VBScript、XML、YAML。

また、暗めのテーマと明るめのテーマから選択できます。



コードの色付け

コードのフォーマット

自動インデントが大幅に改良されました。

これにより、開始タグと終了タグが異なる列で開始するという、手動のコードインデントの問題が解消されます。

コードビューのフォントサイズの変更

コードビューから離れることなく、以下のキーボードショートカットを使用してフォントサイズを変更できます。

- ・ Ctrl ++ (プラス) (Win) または Command ++ (プラス) (Mac) でフォントサイズを拡大
- ・ Ctrl +- (マイナス) (Win) または Command +- (マイナス) (Mac) でフォントサイズを縮小
- ・ Ctrl + 0 (Win) または Command + 0 (Mac) でデフォルトのフォントサイズに戻す

注意：コードをズームすると、Intellisense のポップアップもズームされます。

新しくなったステータスバー

コードビューでステータスバーを使って次のことができます。

- ・ 画面の下部に行と列の番号を表示します。これらの番号は、マウスがある行と列を示します。



ステータスバー

ファイルの種類別のコードカラーリングとヒントを取得します。

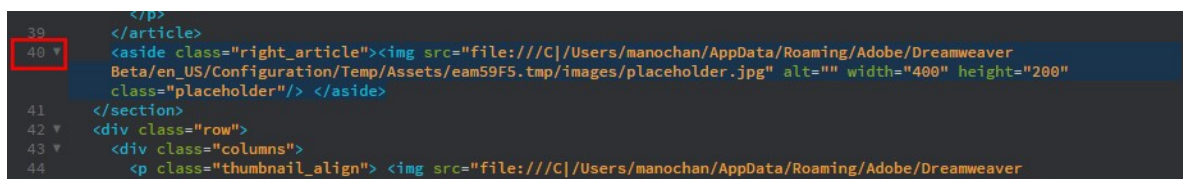
コードビューインターフェイスの右下にあるステータスバーで「INS」または「OVR」をクリックし、挿入モードと上書きモードを切り替えます。

- ・ INS - 挿入モード。テキストを挿入する場合に使用します。
- ・ OVR - 上書きモード。既存のテキストを新しいテキストに置換する場合に使用します。

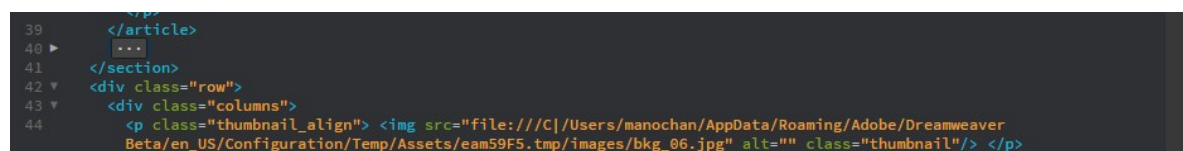
選択内容に基づいたコードの折りたたみ

選択内容に基づいたコードの折りたたみが利用可能になりました。コードブロックを選択し、行番号列で下向き矢印アイコンをクリックするだけです。

タグ／ブロックまたは選択内容に基づいたコードの折りたたみ機能は、以前のバージョンの Dreamweaver と同様に機能します。コードの折りたたみの最小サイズを変更するには、環境設定／一般をクリックします。



下向き矢印をクリックして、選択されたコードを折りたたむ



コードの折りたたみ後

構文チェックコード

HTML、JS、CSS の構文チェック機能は、従来どおり機能します。ただし、構文チェックはファイルを開くときと保存するときだけにトリガーされるようになりました。

エラーまたは警告をカスタマイズするには、環境設定／構文チェックで HTML／CSS／JS の構文チェックのルールセットを編集します。

CSS プリプロセッサ

Dreamweaver に LESS および Sass プリプロセッサが追加されました。LESS および Sass ファイルでは、ファイルの保存時にコンパイルが自動的に起動します。ファイルパネルのコンテキストメニューから、ファイルを右クリックして手動でコンパイルを起動することもできます。現在のファイルが親ファイルによって順番に読み込まれる場合は、親ファイルがコンパイルされます。

特定のファイルまたは複数のファイルを選択してコンパイルするには、ファイルパネルで選択したファイルのコンテキストメニューを開き、「コンパイル」オプションをクリックします。これにより、選択されたファイル（複数可）のコンパイルが起動しますが、Dreamweaver は選択されたファイルの読み込みについては追跡または認識しません。ただし、CSS プリプロセッサのファイルを含むフォルダーを選択した場合、Dreamweaver は最終的にコンパイルが必要なファイルを判断します。

または、Dreamweaver では単一のファイルまたは複数のファイルの編集を選択できます。アクティブなサイトに属しているファイルを保存するたびに、Dreamweaver は保存されたファイルの読み込みを判断し、それらの依存ファイルをコンパイルします。これは、アクティブなサイトに属しているファイル（が編集および保存された場合）にのみ行われます。

アクティブでないサイトに属しているファイルを編集した場合、Dreamweaver では読み込みの判断は行われません。Dreamweaver によるこうした判断が必要な場合は、サイトがアクティブになるように、このファイルが含まれているサイトに切り替えてください。

CSS の生成が完了すると、ドキュメントウィンドウのステータスバーが緑色に変わります。出力パネル（ウィンドウ／結果）に、生成されたファイルのパスが表示されます。

メッセージをダブルクリックすると、生成された CSS ファイルが別のタブで開きます。Sass／LESS ファイルがコンパイルされるたびに、ファイルは新しい変更を反映するよう自動更新されます。

CSS の生成がエラーのため失敗すると、ドキュメントウィンドウのステータスバーが赤色に変わり、エラーメッセージのリストが出力パネルに表示されます。エラーメッセージをダブルクリックすると、エラーが発生した行にジャンプします。

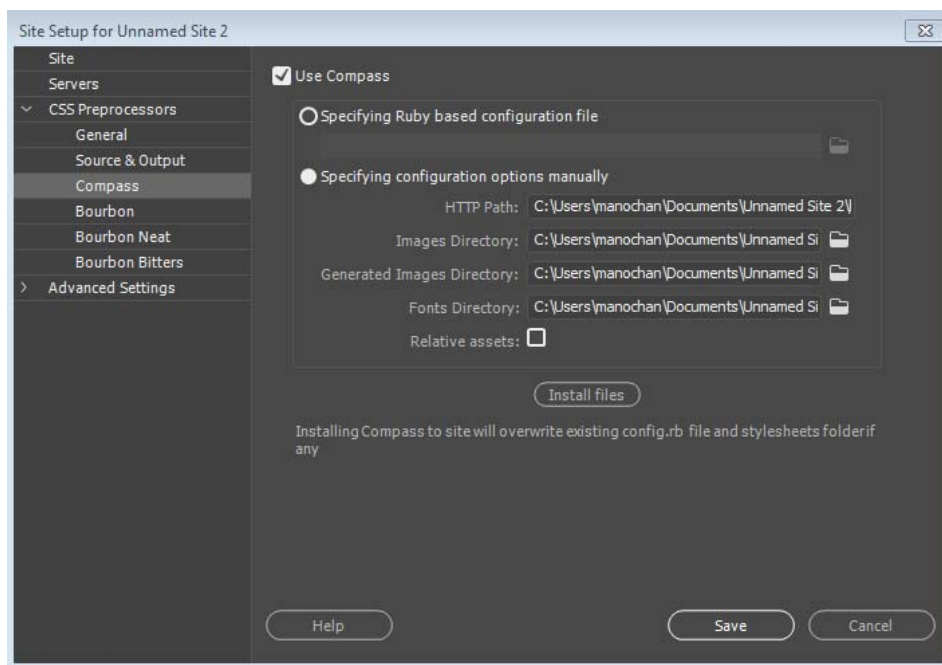
注意：ライブビューの HTML ドキュメントに出力ファイルがリンクしている場合、Sass／LESS ファイルがコンパイルされるたびに、ライブビューは CSS の新しい変更を反映するよう自動的に更新されます。

サイト設定ウィンドウに CSS プリプロセッサ用の個別のカテゴリーが加われました。行った変更は、サイトに固有です。以下は、CSS プリプロセッサの変更点の詳しい説明です。

- ・ [CSS プリプロセッササイト固有の設定](#)
- ・ [Compass のサポート](#)
- ・ [Bourbon のサポート](#)
- ・ [CSS 出力ファイルの格納場所の定義](#)
- ・ [出力パネルに表示される CSS プリプロセッサのコンパイルステータス](#)

CSS プリプロセッササイト固有の設定

CSS プリプロセッサのすべての設定は、サイト設定／CSS プリプロセッサ／一般にあります。



す。このウィンドウで、サイト別の CSS プリプロセッサ設定を行います。

CSS プリプロセッササイト固有の設定が表示されるようになったサイト設定ダイアログ

サイト設定 - 一般 Sass／LESS ファイルの自動コンパイルを有効または無効にできます。このメニューから CSS 出力ファイルのパラメーターを構成することもできます。初期設定ではコンパイルは有効になっています。

サイト設定 - Source & Output（ソースと出力）生成された CSS ファイルの配置場所を定義できるほか、特定のパスを定義し、このパス内の Sass／LESS ファイルが外部エディターで変更された際の自動コンパイルを Dreamweaver で監視およびトリガーできます。

サイト設定 - Compass

Compass フレームワークを選択したサイトにインストールして、Compass を有効または無効にできます。初期設定では Compass は無効です。Compass を有効にした後、Dreamweaver で現在のサイトの config.rb ファイルをポイントすることも、構成を手動で指定することもできます。「ファイルのインストール」をクリックします。Dreamweaver で Compass ファイルが生成されてサイトのルートフォルダーにコピーされ、config.rb ファイルが自動的に選択されま

す。詳しくは、[Compass のサポート](#)を参照してください。

サイト設定 - Bourbon Bourbon をインストールするか、既にサイト内に Bourbon がある場合はパスを選択できます。詳しくは、[Bourbon のサポート](#)を参照してください。

サイト設定 - Bourbon Neat Bourbon Neat をインストールするか、既にサイト内に Bourbon がある場合はパスを選択できます。

サイト設定 - Bourbon Bitters Bourbon Bitters をインストールするか、既にサイト内に Bourbon がある場合はパスを選択できます。

Compass のサポート

Compass はオープンソースの CSS オーサリングフレームワークで、Sass を使用して CSS3 スタイルシートを作成できるようにします。Dreamweaverでは、Compass を使用してスタイルシートを作成できます。

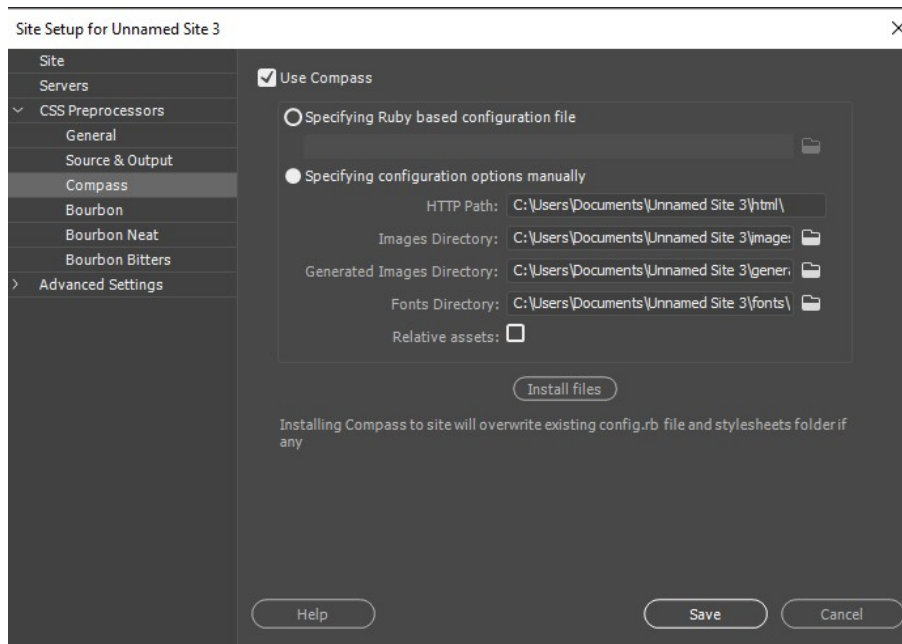
プロジェクトで Compass のスタイルシートを使用するには、次のいずれかの操作を行います。

- ・ [既存の Ruby ベースの config ファイルを指定](#) - Compass をインストールしていて *.rb config ファイルがある場合
- ・ [設定オプションを手動で指定](#) - *.rb config ファイルを持っていない場合

注意 : Compass はローカルサイトにインストールすることもできます。これを行うには、サイト設定ダイアログボックスの CSS プリプロセッサ／Compass で「ファイルのインストール」をクリックします。「ファイルのインストール」をクリックすると、サイトの既存の config.rb（存在する場合）がデフォルトの config ファイルで上書きされます。

既存の Ruby ベースの config ファイルを指定

- 1 サイト設定ダイアログボックスで、CSS プリプロセッサ／Compass を選択します。
- 2 「Compass の使用」チェックボックスをオンにします。



Compass CSS プリプロセッサの使用

3 config ファイル (*.rb) の使用準備が完了している場合は、「Ruby ベースの config ファイルを指定」をクリックし、ファイルの場所を参照して指定します。

注意：このファイルは、サイトのルートフォルダーに配置する必要があります。

4 「保存」をクリックします。

設定オプションを手動で指定

既存の設定オプションがない場合は手動で設定し、ファイルをビルドしてインストールします。

- 1 サイト設定ダイアログボックスで、CSS プリプロセッサ／Compass を選択します。
- 2 「Compass の使用」チェックボックスをオンにします。
- 3 「設定オプションを手動で指定」をクリックします。以下のフィールドは自動的に入力されます。

- ・ HTTP パス：Web サーバー内で実行する場合のプロジェクトへのパス。デフォルトでは「¥」になります。
- ・ 画像ディレクトリ：画像を保持するディレクトリ。project_path を基準とします。
- ・ 生成された画像ディレクトリ：生成された画像を保持するディレクトリ。project_path を基準とします。デフォルト値は images_dir です。

- ・ フォントディレクトリ：フォントファイルを保持するディレクトリ。
- ・ 相対アセット：Compass ヘルパー関数が、生成された CSS からアセットへの相対 url を生成するか、そのアセットタイプの HTTP パスを使用して絶対 URL を生成するかを示します。

4 「保存」をクリックします。

config ファイルが保存され、ファイルパネルでファイルのリストが更新されます。

指定したディレクトリは、サイトの下の新しいフォルダーとして作成されません。Compass はコンパイル時にこの設定を使用します。

Bourbon のサポート

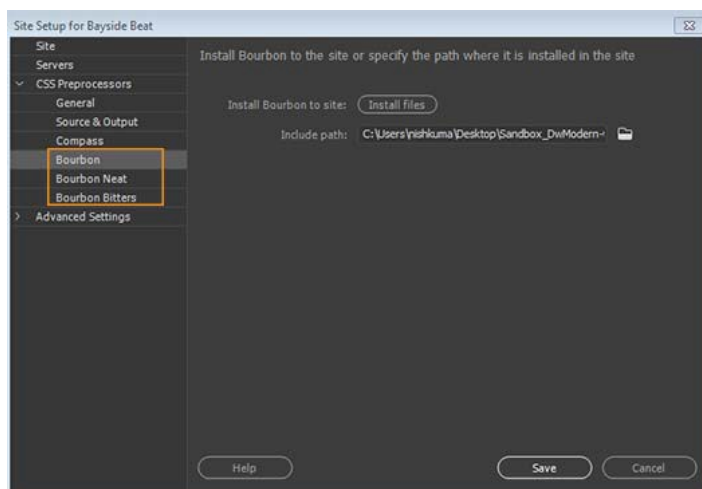
Dreamweaver は以下の Bourbon 製品ファミリーをサポートするようになりました。

- ・ Bourbon - シンプルで軽量な Sass 用の mixing ライブラリ
- ・ Bourbon Neat - Sass および Bourbon 用の軽量なセマンティックグリッドフレームワーク
- ・ Bourbon Bitters - Bourbon プロジェクト用の枠組みとなるスタイル、変数および構造

コード内に `@import "bourbon"` を追加することで、Bourbon フレームワークを読み込むことができます。Dreamweaver はプリプロセッサファイルをコンパイルする際に、事前にパッケージ化されたバージョンの Bourbon を使用します。

または、Dreamweaver への今後の更新がコンパイルのワークフローに影響しないように、Bourbon フレームワークファイルをサイトにインストールすることができます。

Bourbon フレームワークファイルがサイトにコピーされ、フレームワークを読み込む任意のファイルのコンパイルが起動する際は、このフレームワークが使用されます。



Bourbon の操作

コンパイルが成功すると、部分的な更新が起動します。例えば、CSS ファイルをリンクしたり読み込んだりしている HTML ファイルを（ライブビューで）開いた場合などです（CSS ファイルはサイト内に存在する場合も存在しない場合もあります）。

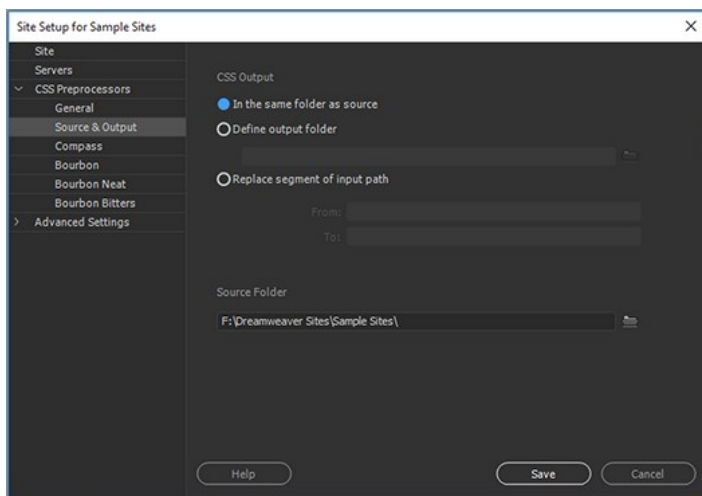
プリプロセッサファイルのコンパイルにより、これらのリンクされた CSS ファイルが生成（作成または上書き）されると、それぞれの HTML ファイルが部分的に更新されて、リンクされたスタイルシートに基づく影響を受けたスタイルが適用されます。

このため、生成およびコンパイルされたスタイルシートのスタイルが適用されているかどうかを見るために HTML ページを更新する必要はありません。これらの更新は、部分的な更新によって即座に適用されるので、マークアップの必要な箇所の編集に集中することができます。

CSS 出力ファイルの格納場所の定義

出力 CSS ファイルの保存先を定義できるようになりました。

サイトのルート内で監視対象のサブフォルダーを選択することもできます。これは、ファイルが外部で（または Dreamweaver 内で）変更されたときに CSS プリプロセッサを自動トリガーする場合に役立ちます。

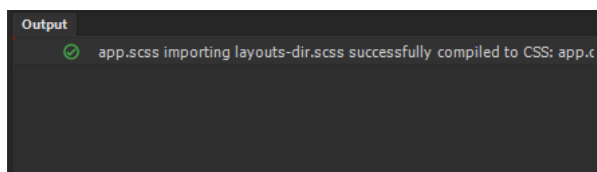


CSS 出力ファイルの格納場所の定義

注意：この機能は現在作業中です。今後のベータ版リリースで機能の拡張と改善を続けます。

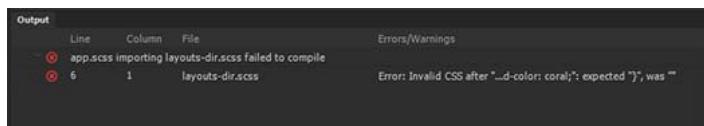
出力パネルに表示される CSS プリプロセッサのコンパイルステータス

CSS プリプロセッサのコンパイル結果が出力パネル（ウィンドウ／結果／出力）に表示され、ステータスバーのステータスアイコンが緑色になります。



CSS プリプロセッサの正常なコンパイルを示す出力パネル

エラーが検出された場合、CSS ファイルは正常にコンパイルされていません。ステータスアイコンが赤で表示され、出力パネルにすべてのエラーと警告が一覧表示されます。



CSS プリプロセッサのコンパイルエラーを示す出力パネル

パネル内のエラーメッセージをダブルクリックすると、コード内のエラーが含まれた行にすばやくジャンプして修正できます。CSS ファイルを正常にコンパイルするには、すべてのエラーを解決する必要があります。

コンパイルされた CSS を開くには、パネル内の成功メッセージをダブルクリックします。

ファイルパネルの変更点

ファイルパネル（ウィンドウ／ファイル）が変更されました。全体として、このパネルは簡素化され、ワークフローに関連しない不要なボタンが表示されなくなりました。代わりに、ワークフローの進行状況に応じてボタンとオプションが直観的に表示されます。

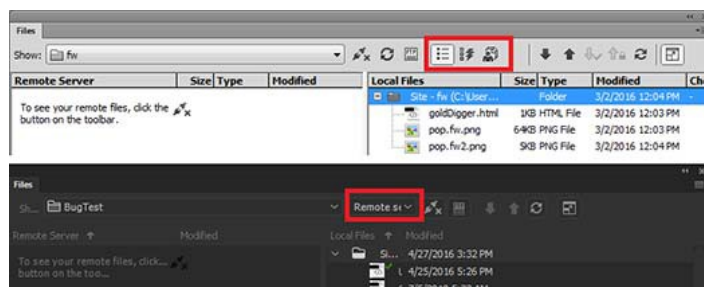
ファイルパネルの変更点の概要を示します。

- ・ リモートおよびテストサーバーのボタンが変更されました
- ・ ファイルパネルで列をカスタマイズする機能
- ・ ファイルパネルに関するその他の変更点

リモートおよびテストサーバーのボタンが変更されました

以前のバージョンでは、リモートおよびテストサーバーのボタンが、展開された状態のファイルパネルに表示されます。これらのボタンをクリックすると、パネルの左側のビューが変わります。

このリリースでは、これらはドロップダウンに置き換えられています。このドロップダウンでリモート／テストを選択すると、それに応じてパネルの左側でビューが変わります。



ファイルパネル UI の変更点

ファイルパネルで列をカスタマイズする機能

以下の操作を実行できます。

- ・ [ファイルパネルでの列の追加または削除](#)
- ・ [ローカル、リモート、テストビューでの列の追加または削除](#)

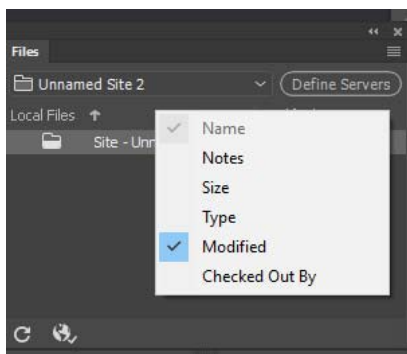
ファイルパネルでの列の追加または削除

ファイルパネルで列を追加／削除するには、ファイルパネルで列ヘッダーを右クリックしてコンテキストメニューを表示します。

コンテキストメニューに 2 つのデフォルト列として「ファイル名」と「変更」が表示されます。どのサイトも選択していない場合は、3 つのデフォルト列として「ファイル名」、「サイズ」、「変更」が表示されます。

ローカル、リモート、テストビューでの列の追加または削除

列を追加または削除するには、ローカル／リモート／テストビューで列ヘッダーのいずれかを右クリックします。列リストは、サイト設定ダイアログボックスのリスト（詳細カテゴリー／表示列）に似ています。

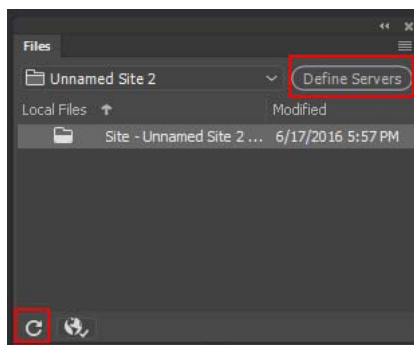


ファイルパネルに関するその他の変更点

- ・ 定義されているサーバーがない場合のために、「サーバーの定義」という新しいボタンが追

加されました。このボタンをクリックすると、サーバーカテゴリーが選択された状態で「サイト設定」ダイアログが表示され、サーバーを定義することができます。

- ・ ファイルパネルの「更新」ボタンがツールバーからステータスバーに移動されました。



新しい「サーバーの定義」ボタンと移動された「更新」ボタン

- ・ 定義されているサーバーがない場合、サーバーワークフローに関連するその他のボタン（GET/PUT、接続、同期）は一切表示されません。
- ・ ステータスバーでファイルやフォルダーをクリックしたときや、マウスでポイントしたときに表示される更新データが表示されなくなりました。
- ・ SVN バージョン管理は廃止されました。

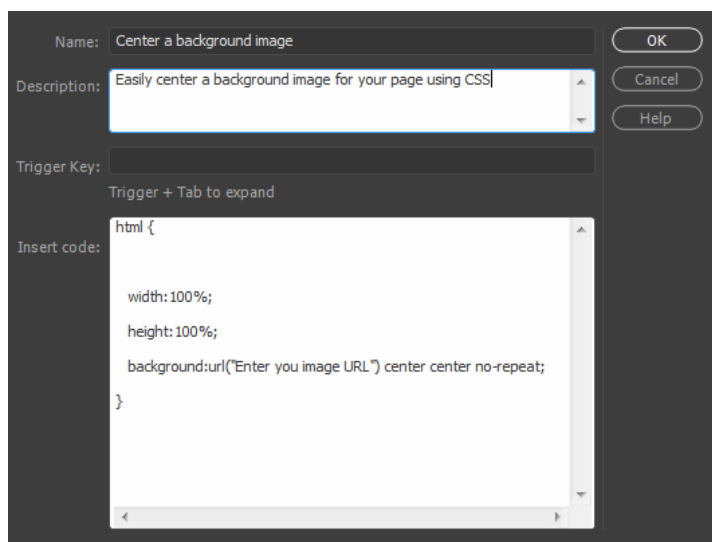
スニペットパネルの変更点

スニペットパネルの操作に関して、いくつかの変更点があります。

- ・ コードプレビューの廃止 - スニペットの選択時のコードプレビューは製品から削除されました。
- ・ スニペットの作成を簡素化 - 簡素化されたダイアログでスニペットをすばやく作成できるようになりました。詳しくは、[スニペットの作成](#)を参照してください。
- ・ キーボードショートカットに代わるトリガーキー - コードにすばやくスニペットを挿入するトリガーキーを追加できます。詳しくは、[スニペットを挿入するトリガーキーのワークフロー](#)を参照してください。

スニペットの作成

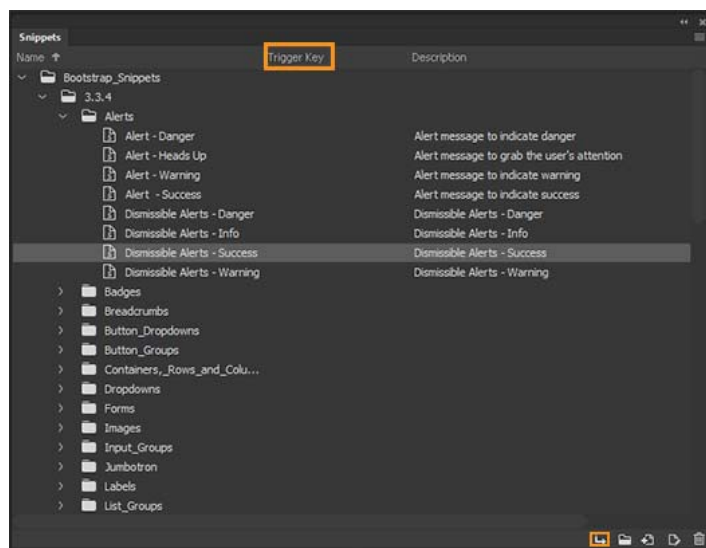
新しい簡素化されたスニペットダイアログにより、コードスニペットの作成が容易になりました。無用なフィールドに入力することなく、後で再利用できるコードスニペットをすばやく作成できます。



スニペットの作成

スニペットを挿入するトリガーキーのワークフロー

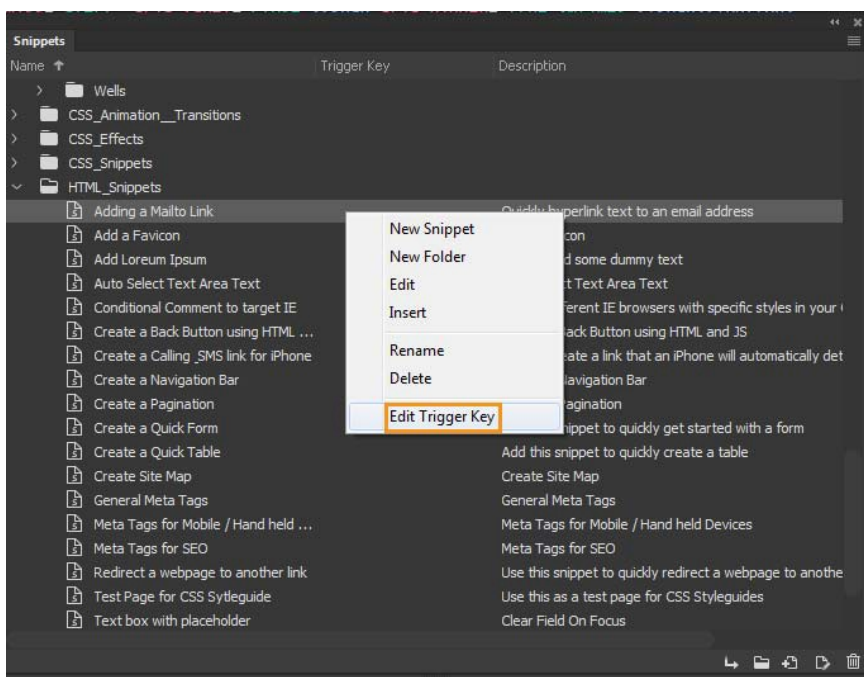
トリガーキーのフィールドを使用すると、よく使うスニペットにキーワードを割り当てて、スニペットをすばやくコードに挿入できます。



スニペットパネルの変更点

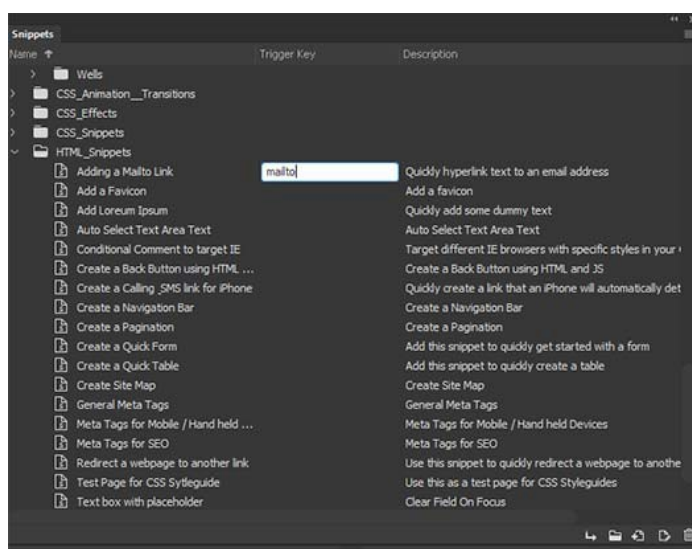
トリガーキーの追加およびトリガーキーを使用したコードスニペットの挿入

1 スニペットを右クリックし、「トリガーキーを編集」を選択します。



スニペットへのトリガーキーの追加

2 トリガーキーのフィールドに目的のテキストを入力します。



トリガーキーのフィールドでのトリガーテキストの追加

注意：トリガーキーに特殊文字を含めることはできません（アンダースコアを除く）。また、

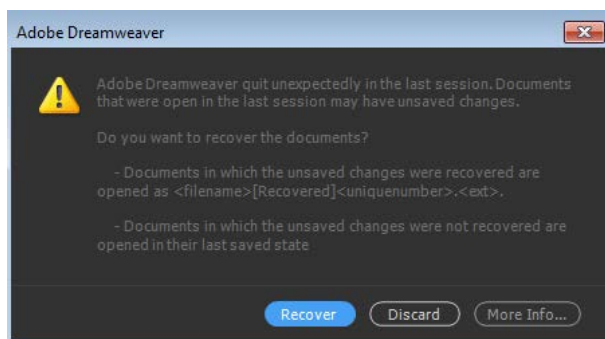
異なる2つのスニペットに同じトリガーキーを使用することはできません。

- 3 トリガーキーを使用してコードにスニペットを追加するには、トリガーテキストを入力して Tab キーを押します。これで、スニペットがコードに挿入されます。

クラッシュ後のファイルの自動復元

Dreamweaver がシステムエラー、停電、その他の問題で予期せずシャットダウンした場合、作業中のファイルで保存されていなかった変更を復元できます。

自動復元機能では、Dreamweaver の未保存のファイルを自動的にバックアップします。クラッシュが発生した場合は、Dreamweaver の以降の起動時に次のダイアログボックスが表示されます。



Dreamweaver での自動復元

クラッシュした Dreamweaver を開いたときに、ファイルに最後に行った変更を復元または破棄できます。

- ・ 復元 - 自動保存されたバージョンのファイルを開くには、このオプションを選択します。
- ・ 破棄 - 自動保存された最新バージョンのファイルを破棄するには、このオプションを選択します。

注意：Dreamweaver では、約 5 秒ごと（オペレーティングシステムにより異なります）に自動保存が行われます。

クラッシュ復元機能に関する既知の問題：

- ・ この機能が記載どおりに動作するためには、最低 1 回ファイルを保存している必要があります。
- ・ Dreamweaver がクラッシュしたときに開いているダイアログボックスがあった場合、ファ

イルは復元できません。

マルチカーソルのサポート

複数選択を使用して同じ編集をドキュメントの様々な部分に適用します。例えば、同じテキストを複数の近接するコード行に追加したり、検索バーを使わずにすべての可変インスタンスをすばやく置換したりします。

マルチカーソルで行った変更は、取り消しまたはやり直してできます。複数選択を作成する2つの基本的な方法があります。

- ・ 列／長方形選択：Alt キーを押しながら、クリックして垂直方向または斜め方向にドラッグします。

垂直方向にドラッグすると、移動する行ごとにカーソルが追加されます。斜め方向にドラッグすると、長方形のテキストブロック（実際は行ごとに1つの選択範囲のセット）が選択されます。複数のカーソルを垂直方向にすばやく作成する早道として、Shift キーと Alt キーを押しながら上向き矢印／下向き矢印キーを押して、現在の選択範囲から上または下にカーソルを追加します。

- ・ 連続しない選択範囲：ソースを選択し、Ctrl キー（Windows）または Cmd キー（Mac）を押しながら別の選択を行います。2 回目の選択は、連続しない別の選択範囲として追加されます。

これら2つの方法を組み合わせることもできます。Ctrl キーを押しながら Alt キー、または Command キーを押しながら Alt キーを押して、ドラッグして既存の複数選択範囲に列／長方形の選択範囲を追加します。

複数選択を行うと、ほとんどのナビゲーションコマンドや編集を各カーソルまたは一定の選択範囲に適用できます。例えば、入力を行うと、入力した文字は各カーソルに表示されます（または各選択範囲を置換します）。矢印キーは、矢印の方向に各選択範囲を移動します。


```

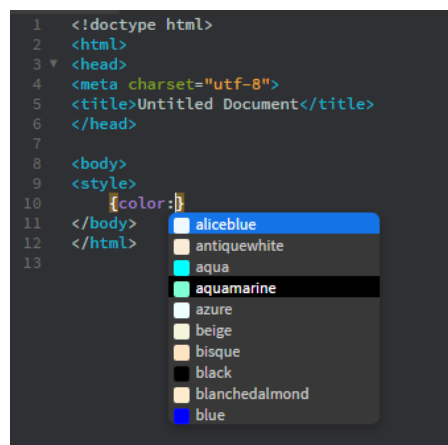
<ul class="header-social">
  <li><a class="header-social-item" href="#"><img src
  <li><a class="header-social-item" href="#"><img src
  <li><a class="header-social-item" href="#"><img src
</ul>
</div>

```

マルチカーソルのサポート

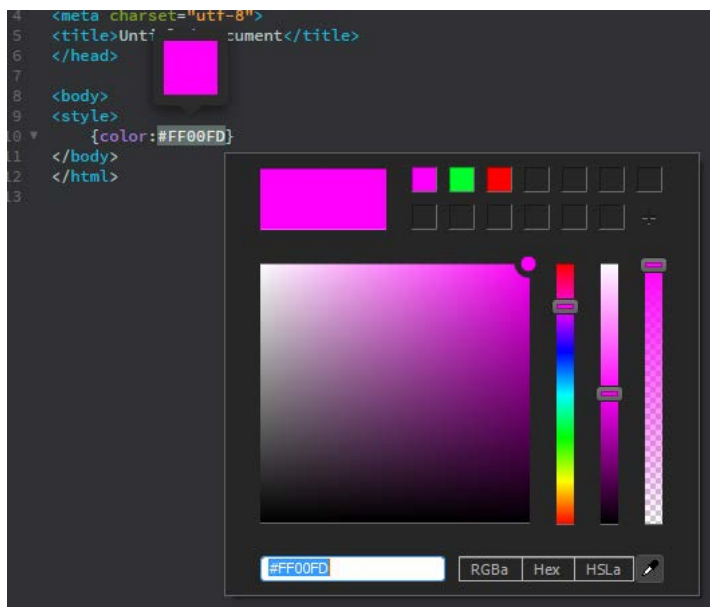
コードヒントとクイック編集を使用したカラーピッカーへのアクセス

コードヒントは入力中に自動的に表示されますが、Ctrl キーを押しながらスペースキーを押して（Windows および Mac）手動でも表示できます。新しいコードビューでは、カラー属性のコードヒントは次のとおりです。



カラーのコードヒント

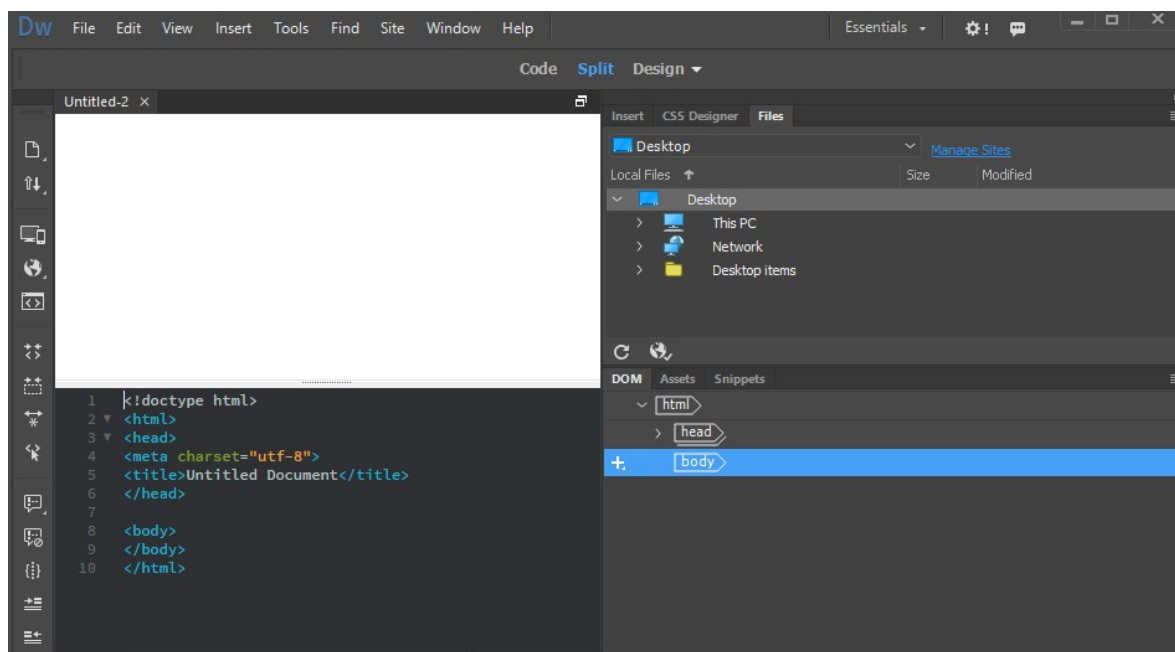
特定のコードスニペット上にカーソルを置き、Ctrl キーまたは Command キーを押しながら E キーを押すと、クイック編集のインラインエディターが開きます。16 進カラーまたは RGB/RG
BA/HSL/HSLA カラーを含むファイルの場合、クイック編集はインラインのカラーピッカーを開いてカラーのプレビューと調整ができるようにします。



クイック編集での色の編集

ワークスペースの変更点

Dreamweaver ワークスペースにいくつかの変更点があります。



削除された余分なワークスペース

デフォルト、抽出、および初心者向けワークスペースは、ツールバーから削除されました。

新しい標準ワークスペース

標準ワークスペース

新しい標準ワークスペースがデフォルトワークスペースになりました。標準ワークスペースには、以下の一般的なツールバーとパネルが含まれています。

- ・ ファイル
- ・ CC Libraries
- ・ 挿入
- ・ CSS デザイナー
- ・ DOM
- ・ アセット
- ・ スニペット

デフォルトでは、ファイルパネルと DOM パネルにフォーカスがあります。

Dreamweaver の環境設定の強化

Dreamweaver の環境設定メニューが強化され、プロジェクトの設定をより直接的に管理できるようになりました。

Dreamweaver 環境設定	変更点の説明
コードの色付け	暗めのテーマと明るめのテーマを選択できるようになりました。現時点ではコードカラーリングのカスタマイズはできません。

コードフォーマット	インデント、タブサイズ、コードを折りたたむ最小サイズを設定できます。コードフォーマットに関するその他の環境設定は、現在利用できません。
コードヒント	コードヒントは有効／無効にすることができます。また、どのような場合に終了タグを自動挿入するかを選択できます。
フォント	コードビューのフォントおよびフォントサイズを選択できます。フォントに関するその他の環境設定は、現在利用できません。

ツールバーの変更点

ドキュメントツールバーの変更点

注意：この機能は現在、Windows オペレーティングシステムでのみ使用できます。

ドキュメントツールバーでは、コード、分割、ライブのみが、ツールバーの中央にビューとして表示されるようになりました。

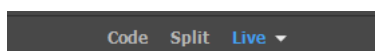
ビューを選択すると、そのビューが青で強調表示されます。ドッキングを解除すると、ドキュメントツールバーの横の長さは非常に短くなります。

さらに、メニューのツールバーオプションは、ウィンドウ／ツールバーに移動されました。

次の画像は、以前のリリースでのドキュメントツールバーと、Dreamweaver CC（2017 年ベータ版）のドキュメントツールバーの比較です。



ドキュメントツールバー - 2015 年リリースの Dreamweaver CC



最終更新日：2016

ドキュメントツールバー - Dreamweaver CC（2017 年ベータ版）リリース

注意：これらのビューでは現時点でテキストのみが利用可能で、その外観と操作性については作業中です。

一般ツールバーの変更点

Dreamweaver ワークスペースの左側に表示される一般ツールバー（以前のコーディングツールバー）は、ビュー固有になりました。つまり、現在のビューに応じて、そのビューに該当するメニューオプションのみが表示されます。

一般ツールバーの変更点について、以前のリリースのコーディングツールバーと、Dreamweaver CC（2017 年ベータ版）リリースの一般ツールバーのスクリーンショットをご覧ください。



コーディングツールバー - 2015 年リリースの Dreamweaver




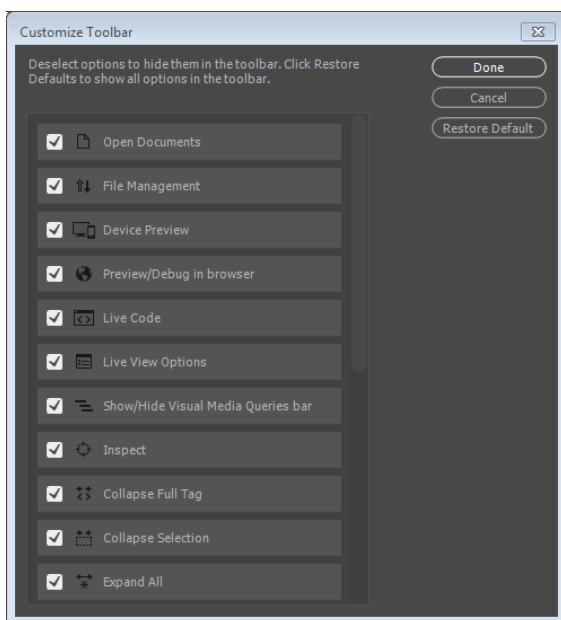
一般ツールバー - Dreamweaver CC (2017 年ベータ版) リリース

このツールバーでメニューオプションを追加したり、不要なメニュー オプションを削除したり

して、必要に応じてツールバーをカスタマイズすることもできます。

ツールバーをカスタマイズするには、次の操作を行います。

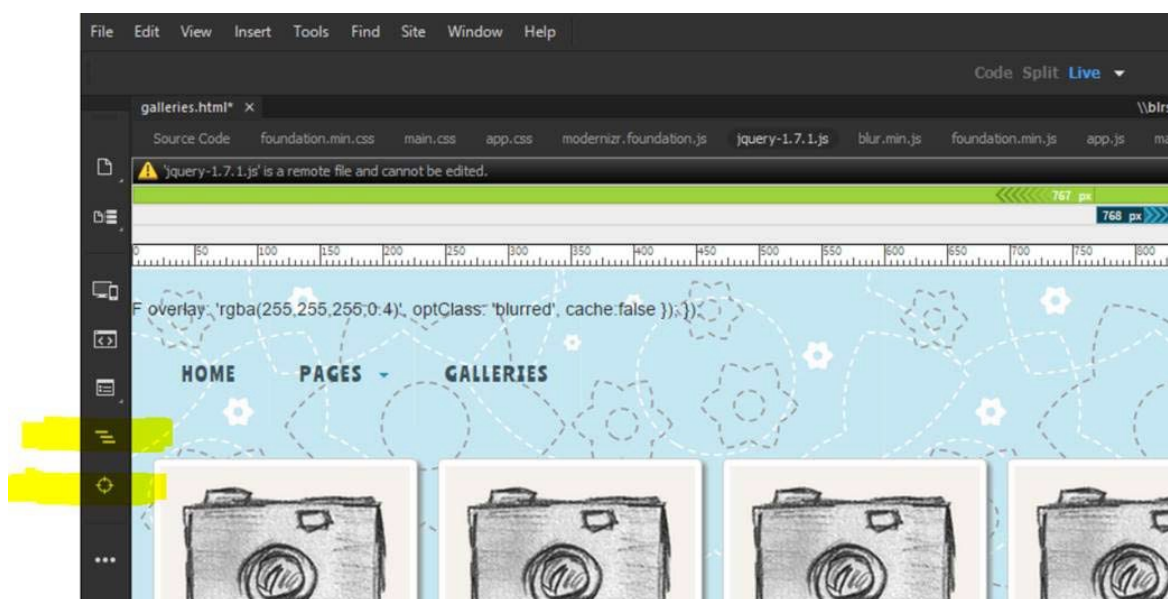
- 1 ツールバーの  をクリックし、ツールバーをカスタマイズダイアログボックスを開きます。



ツールバーをカスタマイズ

- 2 必要に応じてツールバーのメニューオプションを選択または選択解除し、「終了」をクリックしてツールバーを保存します。デフォルトのメニューオプションに戻すには、「デフォルトに戻す」をクリックします。

ライブビューで一般ツールバーの新しいボタンを使用して、ビジュアルメディアクエリーバーの表示／非表示を切り替えることができます。一般ツールバーには、ライブビューとインスペクトモードのボタンも追加されています。



ファイル管理アイコンが変更され、次のような外観になりました。



ファイル管理アイコン

以下のツールバーオプションは、このリリースの Dreamweaver CC（2017 ベータ版）では実装されていません。

- ・ フルタグをたたむ
- ・ 選択範囲をたたむ
- ・ すべて展開
- ・ コメントの削除
- ・ カッコ内を選択
- ・ ワードラップ

以下のツールバーオプションは、このリリースの Dreamweaver CC（2017 ベータ版）では実装されていません。

- ・ フルタグをたたむ
- ・ 選択範囲をたたむ
- ・ すべて展開

- ・ コメントの削除
- ・ カッコ内を選択
- ・ ワードラップ

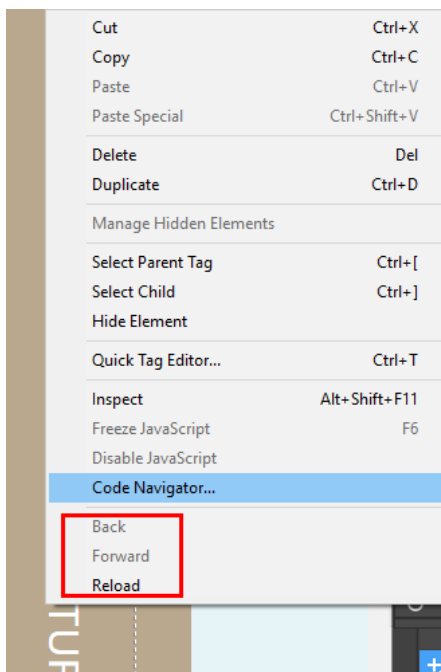
以下のツールバーオプションは、このリリースの Dreamweaver CC（2017 ベータ版）では実装されていません。

- ・ フルタグをたたむ
- ・ 選択範囲をたたむ
- ・ すべて展開
- ・ コメントの削除
- ・ カッコ内を選択
- ・ ワードラップ

コンテキストメニューの変更点

コンテキストメニューでのライブビューの更新

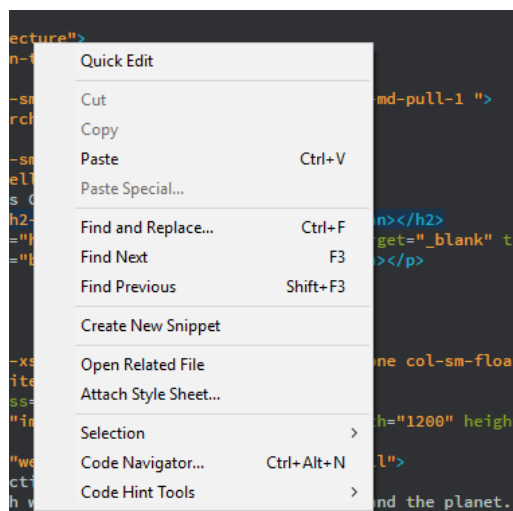
コンテキストメニューを使用して、ライブビューの更新とライブビュー内での前後への移動ができるようになりました。



コンテキストメニューを使用してライブビュー内で前後へ移動

コードビューのコンテキストメニュー

コードビュー内で右クリックすると、コンテキストメニューが使用可能になります。ただし、現時点ではすべてのオプションが利用できるわけではありません。



コードビューで右クリックして利用できるコンテキストメニュー

以下のコンテキストメニュー項目は、このバージョンの Dreamweaver では利用できません。

- ・ 前へ検索
- ・ コードヒントツール
- ・ 選択範囲／選択範囲をたたむ、選択範囲以外をたたむ、選択範囲を展開、フルタグをたたむ、
選択範囲以外のフルタグをたたむ

キーボードショートカットの変更点

ショートカット	従来の動作	新しい動作
Ctrl + L	リンクを変更またはリンクを作成	行を選択
Ctrl + [親タグを選択	コードのインデント解除
Ctrl +]	子タグを選択	コードのインデント
Ctrl + Alt + 上向き矢印		親タグを選択
Ctrl + Alt + 下向き矢印		子タグを選択
Ctrl + D	エレメントを複製（ライブビュー）	行を複製
Ctrl + Shift + D	ファイルを取得	行を削除
Ctrl + Alt + D		ファイルを取得
Ctrl + /（スラッシュ）	DOM パネルの表示／非表示の切り替え	コメントの切り替え
Ctrl + Shift + スペースバー	区切りなしスペースの挿入	パラメーターのヒントを表示

Ctrl + - (マイナス)	ズームアウト (ライブビュー)	フォントサイズの縮小 (コードビュー) ズームアウト (ライブビュー)
Ctrl + 0	100% ズーム (ライブビュー)	フォントサイズの復元 (コードビュー) 100% ズーム %(ライブビュー)
Ctrl + K	抽出パネルの表示／非表示の切り替え	クイックドキュメント
Ctrl または Command + E	該当なし	クイック編集
Ctrl + / (スラッシュ) または Command + / (スラッシュ)	DOM パネルの表示／非表示の切り替え	コメントの切り替え

編集不可の内容

テンプレートインスタンス内のロックされている領域を編集することはできません。

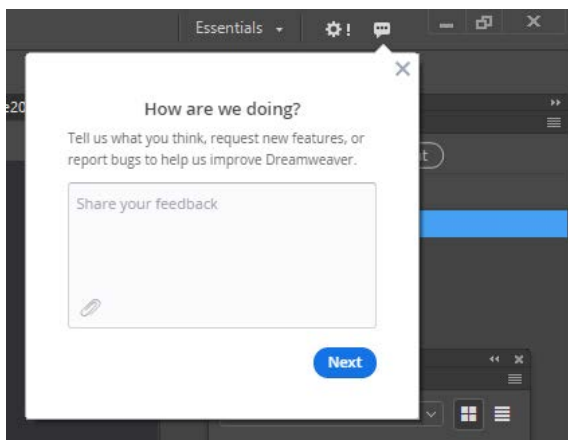
ただし、現在のコードビューでは読み取り専用ファイルまたはリモートファイル内での入力には阻止されません。この機能強化については、今後のベータ版ビルドで対処します。

アプリケーションメニューの再構成

Dreamweaver のアプリケーションメニューが、オプション別の機能に応じて内容が再構成されるようになりました。この再構成により、新規ユーザーはメニューオプションを簡単に見つけられるようになります。

フィードバックの提供

Dreamweaver の魅力的な変更全般についてご意見や感想がある場合は、Dreamweaver 内に埋め込まれた「フィードバック」オプションを通じてコメントを入力してください。



Dreamweaver のフィードバックオプション

必要システム構成

Windows

- ・ Intel Pentium 4 または AMD Athlon 64 プロセッサ
- ・ Microsoft Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10
- ・ 2 GB 以上の RAM
- ・ 1.1 GB 以上の空き容量のあるハードディスク。ただし、インストール時には追加の空き容量が必要（取り外し可能なフラッシュメモリを利用したストレージデバイス上にはインストール不可）
- ・ 1280 x 1024 の画面解像度をサポートするディスプレイ、および 16 ビットのビデオカード
- ・ ソフトウェアのライセンス認証、サブスクリプションの検証、およびオンラインサービスの利用には、インターネット接続および登録が必要です。

Mac OS

- ・ Intel マルチコアプロセッサ
- ・ Mac OS X バージョン 10.10、10.11
- ・ 2 GB 以上の RAM
- ・ 1.1 GB 以上の空き容量のあるハードディスク。ただし、インストール時には追加の空き容量が必要（大文字と小文字が区別されるファイルシステムを使用している場合や、取り外し可能なフラッシュメモリを利用したストレージデバイス上にはインストール不可）
- ・ 1280 x 1024 の画面解像度をサポートするディスプレイ、および 16 ビットのビデオカード
- ・ ソフトウェアのライセンス認証、サブスクリプションの検証、およびオンラインサービスの利用には、インターネット接続および登録が必要です。

各国語バージョン

Dreamweaver CC は次の言語で使用できます。Deutsch

English Español Français Français* Hebrew* Italiano Nederlands Polish

Português (Brasil) Svenska

Turkish čeština Р у с с к и й

□□□□

日本語

简体中文*

繁體中文*

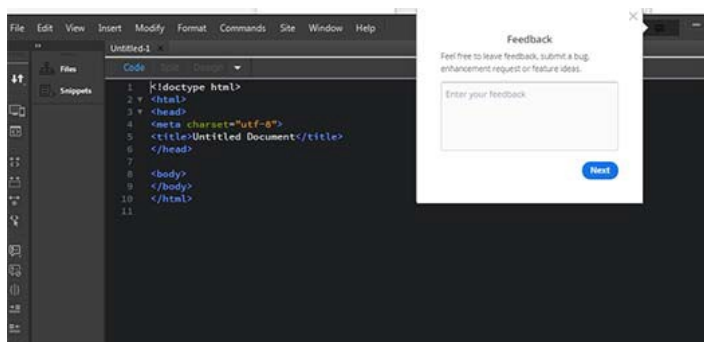
한국어*

* 簡体字中国語、繁体字中国語および韓国語は Windows でのみ利用可能です。アラビア語およびヘブライ語バージョンでは、ローカライズされたサポートと英語インターフェイスの機能を使用できます。北アフリカフランス語 (Français*) バージョンでは、ローカライズされたサポートとフランス語インターフェイスの機能を使用できます。

機能リクエスト、フィードバック、バグレポート

Dreamweaver CC (2017 ベータ版) で問題が発生した場合、または機能リクエストの送信やフィードバックの提供を行う場合は、次のいずれかの操作を行ってください。

- Dreamweaver ユーザーインターフェイスの右上隅にあるフィードバックボタンをクリックします。詳しくは、[フィードバックの提供](#)を参照してください。
- [UserVoice](#) にアクセスし、Adobe ID の作成に使用したのと同じ電子メール ID を使用してログインします。



Dreamweaver のフィードバックオプション

Dreamweaver のバグについて直接お問い合わせいただく場合は、dw_bugs@adobe.com まで電子メールをお送りください。

公開の Web サイトにバグのスクリーンショット例を投稿しないでください。これは、このプログラムに参加する際に同意いただいた機密保持契約違反となります。

注意 : Windows のクラッシュログはデスクトップに報告されなくなりました (情報ダイアログ)。代わりに、報告なしに config フォルダーに書き込まれます。Windows で Dreamweaver がクラッシュしたと疑われる場合は、config フォルダーで確認できるようになりました。

Mac の場合は、Adobe Crash Reporter という機能があります。この機能は、クラッシュが発生したときに起動し、そのクラッシュに関連する特定のデータを収集してアドビに送信します。Mac でクラッシュが発生した場合は、次の手順に従ってクラッシュレポートを送信し、問題に関するバグを報告してください。

- 1 Dreamweaver がクラッシュすると、Adobe Crash Reporter が起動します。
- 2 通常の手順を使用してバグをログ入力します。「Bug Description (バグの説明)」内の、バグの再現手順の下に、クラッシュレポートのすべての内容をコピー＆ペーストしてください。すべての必須フィールドに入力し、バグを保存します。
- 3 Crash Reporter の「Optional Problem Description (オプションの問題の説明)」に手順と一緒にバグ番号を入力し、「Send to Adobe (アドビに送信)」をクリックします。

既知の問題

この Dreamweaver ベータ版のリリース時点でアドビが確認していた問題は次のとおりです。

- Dreamweaver を終了するとクラッシュする
- イメージプロパティインスペクターのホットスポットツールは現在利用できない
- クラスコンボでクラスがそのアイテムに適用されない
- プロパティインスペクターでリンクツールが機能しない
- 現在のドキュメントで置換アクションを実行した場合、確認メッセージが表示されない
- 検索および置換で複数行選択ができない
- コードヒントを有効／無効にすると、未保存の JavaScript コードが失われる
- ファイル名またはディレクトリ名にローカライズされた文字が含まれている場合、ファイルをライブビューで開けない
- En_US 以外のすべてのロケール：アドオンを追加できない場合や、Extension Manager を使用できない場合がある
- Photoshop から Dreamweaver にイメージをコピー＆ペーストできない
- 置換アクションの後で、検索対象としてフォルダー、サイト内の選択したファイル、現在のローカルサイト全体、および選択したテキストを指定した場合の検索結果がハイライト表示されない
- ブラウザーのライブプレビューを使用した後で、PHP ドキュメントの編集集中に変更／取り消しを行うたびにダイアログボックスが表示され、「はい」をクリックする（ファイルを保存してテストサーバーに送信する）まで消えない

Dreamweaver ベータ版ビルドのインストール

Windows 版（9148.1）および Mac 版（9148）の Dreamweaver CC（2017 Beta）ビルドをテストしてフィードバックをお寄せいただくことができます。

機能とユーザーインターフェイスは未完成であり、プレリリースプログラムの途中で変更されることがあります。皆様からのフィードバックは Dreamweaver の改善に役立ちます。プレリリース版の Web サイトで機能リクエストやバグレポートをお寄せください。

Dreamweaver ベータ版と以前のリリースの Dreamweaver CC との共存

- ・ Windows と Mac の両方で Dreamweaver ベータ版ビルドと一緒に任意のインストール済みバージョンの Dreamweaver を起動できます。
- ・ 環境設定とキーボードショートカットはベータ版ビルドに移行されません。
- ・ 以前のインストール済みバージョンの Dreamweaver から同期設定を読み込むことはできません。
- ・ ベータ版ビルドには別個のバージョン番号「16.6」が割り当てられています。
- ・ ベータ版ビルドでは、Mac と Windows の以下の場所に環境設定が別個に作成されます。
 - ・ Mac :
 - ・ ~/ライブラリ/Preferences/Adobe Dreamweaver Beta Prefs
 - ・ ~/ライブラリ/Application Support/Adobe/ Dreamweaver Beta
 - ・ Windows :
 - ・ HKEY_CURRENT_USER\Software\Adobe\Dreamweaver Beta
 - ・ C:\Users\<username>\AppData\Roaming\Adobe\Dreamweaver Beta
- ・ ベータ版ビルドで作成されるサイトは、Common フォルダー内の別個のフォルダー「16.6」に作成されます。

インストール前の注意事項

- ・ これは非常に早い段階のプレビューであることを考慮し、このビルドの使用はテスト目的に限ります。実稼働環境にはデプロイしないでください。
- ・ このビルドを使用する前に、サイトをバックアップしてください。また、出荷済みバージョンの製品のサイト定義については、サイト／サイトの管理／書き出しでバックアップします。

Dreamweaver の旧ビルドのアンインストール

既にインストールされているベータ版がある場合は、それをアンインストールしてから、提供されたスクリプトを実行して手動で残存ファイルをクリーンアップします。これらはベータ版ビルドのインストーラーの既存のバグにより、アンインストール後に残ったファイルです。


このスクリプトにより、Dreamweaver ベータ版ビルドの環境設定、インストールされたフォルダー、ユーザー設定を AppData フォルダーから削除します。

注意：このスクリプトではバックアップは作成されません。このスクリプトを実行すると、上記のすべてのファイルとフォルダーは完全に削除されます。

注意：Alpha 1 ビルドで新しく作成したスニペットがある場合は、Alpha 1 ビルドをアンインストールする前にスニペットのバックアップを作成してください。

Mac の場合：

- 1 プレリリース版のダウンロードページから CleanupDWBetaFiles.sh をダウンロードします。
- 2 Dreamweaver ベータ版が起動している場合はそれを終了し、Dreamweaver ベータ版または Dreamweaver ベータ版ヘルパープロセスが

アクティビティモニターに表示されていないことを確認します。プロセスが実行中である場合は、アクティビティモニターでプロセスの行を選択して  をクリックし、プロセスを強制終了します。

- 3 ターミナルで次のコマンドを実行します： `sudo sh <Path to DeleteDWBetaFolders.sh>`

これにより、Dreamweaver ベータ版のアンインストーラーの実行後に残った Dreamweaver ベータ版のすべてのファイルが削除されます。

Windows の場合：

- 1 プレリリース版のダウンロードページから CleanupDWBetaFiles.bat をダウンロードします。
- 2 Dreamweaver ベータ版が起動している場合はそれを終了し、Dreamweaver ベータ版または Dreamweaver ベータ版ヘルパープロセスがタスク マネージャーに表示されていないことを確認します。プロセスが実行中である場合は、タスク マネージャーでプロセスを右クリッ

クして「タスクの終了」をクリックし、プロセスを強制終了します。

- 3 Windows のスタート メニューでコマンド プロンプトのショートカットを右クリックして「管理者として実行」を起動します。

- 4 次のコマンドを実行します : <DesktopPath>%DeleteDWBetaFolders.bat

これにより、Dreamweaver ベータ版のアンインストーラーの実行後に残った Dreamweaver ベータ版のすべてのファイルが削除されます。

64 ビット版 Dreamweaver を 64 ビット版 OS で実行する前提条件

オペレーティングシステムが 64 ビットかどうかを確認するには、以下の記事で説明されている手順に従ってください。

- Windows の場合 : <http://support.microsoft.com/kb/827218>
- Mac の場合 : <http://support.apple.com/kb/ht3696>

インストール手順

- 1 プレリリース版のサイトの「ビルド」セクションから Dreamweaver ベータ版ビルドをダウンロードします。

- 2 ビルドをフォルダーに抽出して、インストーラーを実行します。

デフォルトでは、抽出先が¥デスクトップ¥Dreamweaver Beta になります。

インストールが完了すると、Dreamweaver ベータ版が自動的に起動します。

ビルドが正常にインストールされているかどうかを確認するには、以下のとおり、ビルド番号が正しいことを確認します。

- Windows の場合 : 9148.1
- Mac の場合 : 9148